



2024年7月24日

日本と台湾における鉄道を軸とした観光交流人口の拡大・地域活性化を目指して ～ 台湾鉄道観光協会と鉄道観光プロモーション協定を締結 ～

一般社団法人日本民営鉄道協会
台湾鉄道観光協会

一般社団法人日本民営鉄道協会（事務局：東京都千代田区、会長 原田一之）は、2024年7月20日（土）、台湾鉄道観光協会と、鉄道を軸とした観光交流人口の拡大と地域活性化を目指して、「日本と台湾における鉄道観光プロモーションに関する協定書」を締結しました。

2019年に日本と台湾の双方向の人的往来は700万人を突破し、過去最高を更新しましたが、コロナ禍で大きく落ち込んだ人的往来は、コロナ禍を乗り越えた2023年においてもその水準まで回復していません。

参考：台湾 ⇒ 日本 [2019年] 491万人 [2023年] 420万人（日本政府観光局データ）

日本 ⇒ 台湾 [2019年] 216万人 [2023年] 93万人（台湾交通部観光署データ）

そこで、当協会と台湾鉄道観光協会は相互協力のもと、双方で効果的な鉄道観光プロモーションを行う等の取り組みを進めることで、人的往来を増加させ、双方の鉄道業界の発展、沿線地域の活性化に寄与することを目指し、本締結に至りました。

なお、当協会が海外の団体と協定を結ぶのは初めてとなります。

詳細は以下の通りです。

1. 協定締結日
2024年7月20日（土）
2. 調印式会場
台湾 台北市「台北駅」
3. 締結代表者
日本民営鉄道協会 会長 原田一之
台湾鉄道観光協会 理事長 周永暉
4. 締結した協定の概要と具体的な取り組み

【協定の概要】

- ・鉄道を軸とした日本と台湾の鉄道事業者の相互交流促進及び友好関係の強化に努める。
- ・互いの鉄道の魅力を向上させていくため、鉄道を軸とした鉄道旅行のプロモーション活動を行うことに努める。
- ・観光情報の提供及び活用、観光交流の広告・プロモーション活動への協力を強化する。



調印式の様子①

- ・以上の取り組みを効果的に実施するため、**双方の会員が一体となった交流を促進し、鉄道を軸とした日本と台湾における観光交流人口の拡大・地域活性化**に向けた取り組みが行われるように努める。

【具体的な取り組み検討内容】

- ・双方の関連施設での鉄道旅行 PR イベントの開催
- ・双方の鉄道駅でのスタンプラリーの企画
- ・SNS を活用した、鉄道旅行写真投稿キャンペーンの実施



調印式の様子②

5. 代表メッセージ

【日本民営鉄道協会 会長 原田一之】

日本を訪れる観光客は、主にゴールデンルートで旅をされる方々が多いですが、今後は各地の鉄道との関りを深くしていただきたいと考えています。一方、日本から台湾への旅客もこれまでの93万人から増やしていくことも大きな課題であります。

両協会が協定を締結し、相互に効果的なプロモーション活動に取り組むことは大変有意義であり、両国の鉄道業界の発展、沿線地域の活性化、日本と台湾の国際交流促進に資するものと期待しています。



【台湾鉄道観光協会 理事長 周永暉】

鉄道は単に移動の交通手段ではなく、人と人を結ぶ絆でもあります。そして、日常の通勤を支えるだけでなく、旅行の思い出をもたらします。鉄道を中心としたサステナブルツーリズムやデジタルトランスフォーメーションによる観光サービスの品質向上に加え、ローカル鉄道や特色ある駅の旅などを推進し、「地方創生」の活性化を実現することに努めています。

両協会は連携して鉄道観光を発展させ、鉄道旅行独自のストーリー性を広めることを目指しています。この取り組みを通じて、世界中の旅行者に台湾と日本の豊かな風土や文化を体験していただき、鉄道旅行の魅力をさらに深めることで、両国の友好関係がより一層深まることを期待しています。

